

(別紙5)

整理番号 2019P-126

補助事業名 2019年度 お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 NPO法人てのひら

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「自立と共生」を理念に掲げる高齢者グループリビングは、一人暮らしの不安を緩和し、家庭的料理と会話がある日常を送ることができる住まい方であり、共同でケアを受けることを目的とする高齢者施設・住宅とは異なるスタイルの暮らしを実践してきた。しかし、居住者の加齢が進むなかでケアを必要とするケースが増加しており、グループリビングの特徴を維持しながら、地域のケア資源と連携をとりつつ、グループリビングで暮らし続ける選択肢を広げる必要性が生じている。事例研究や運営者への聞き取りを通じて、その具体的なあり方を明らかにする。

(2) 実施内容

1) 委員会開催 2019年度の調査について話し合いを行った。

10月27日オーナズテラス自由が丘

出席者 石原智秋、小島美里、大江守之、上野勝代、井上肇、星川光子・
中村雅充・土井原奈津江

2) 8件のグループリビングでアンケートに基づいたインタビュー調査を実施した。



1月17日 たすけ愛の家



1月23日 COCOせせらぎ



2月7日 てのひら



2月13日 COCO 湘南台



2月14日 えんの森

(別紙5)

- 2020年 1月17日 インタビュー調査 たすけ愛の家
(担当：石原智秋・土井原奈津江)
- 2020年 1月23日 インタビュー調査 COCOせせらぎ
(担当：近兼路子・中西眞弓・宮野順子・土井原奈津江)
- 2020年 2月 7日 インタビュー調査 てのひら
(担当：中西眞弓・宮野順子・土井原奈津江)
- 2020年 2月13日 インタビュー調査 COCO湘南台
(担当：宮野順子・近兼路子・土井原奈津江)
- 2020年 2月14日 インタビュー調査 えんの森
(担当：宮野順子・近兼路子・藤井康雄・土井原奈津江)
- 2020年 2月17日 インタビュー調査 COCO宮内
(担当：中西眞弓・宮野順子・土井原奈津江)
- 2020年 2月18日 インタビュー調査 モーニング
(担当：林和義・宮野順子・近兼路子・土井原奈津江)
- 2020年 2月20日 インタビュー調査 おでんせ中の島
(担当：宮野順子・近兼路子・中西眞弓・土井原奈津江)

3) インタビューを報告書にまとめた。(＊報告書P.5～67の一部)

たすけ愛の家	えんの森	担当：土井原奈津江
COCOせせらぎ	おでんせ中の島	担当：近兼路子
てのひら	COCO宮内	担当：中西眞弓
COCO湘南台		担当：宮野順子
モーニング		担当：林和義

4) シンポジウム準備

3月4日に川崎市国際交流センターにて行う予定でチラシを作成しHPやメールで参加者を募っていたところ、政府専門家会議では、2月24日に「これから1～2週間が新型コロナウイルス感染の急速な拡大に進むか、収束するかの瀬戸際」で山場だとする見解の公表があり、シンポジウムの中止を決め2月25日に参加者や関係者にメール、HP、電話などで周知した。

5) シンポジウムの準備と開催

新型コロナウイルス感染予防のため、集まって行うシンポジウムを中止し、メールのやりとりで実施することにした。3月までに作成していたインタビューをまとめた報告書を参加者に配布し、それについて質問や感想等を集めた。各グループリビングの運営者やグループリビングの研究者が回答した。

(別紙5)

6) シンポジウムの質疑回答を報告書にまとめメールで参加者に配信した。

(* 報告書P. 68~98の質問部分)

7) 調査報告書とシンポジウムの質疑回答に加え、考察をまとめ1冊の報告書をつくり、会員、研究者等に配布した。

<https://www.glnet-groupliving.org/news/archives/62>

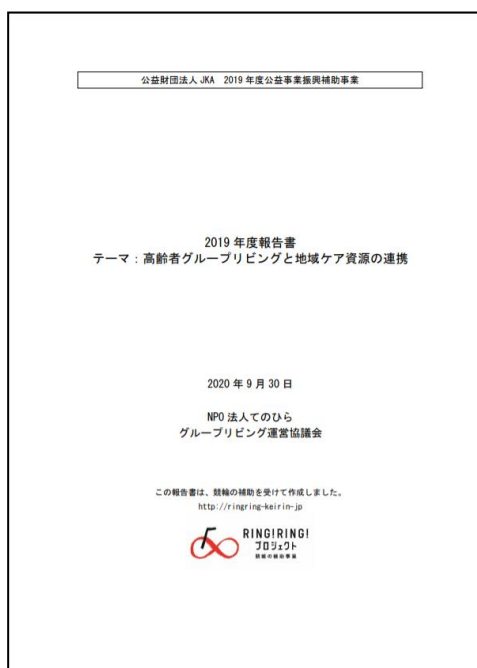
2 予想される事業実施効果

地域包括ケアシステムは目標概念であり、その実現のためには、医療、介護、生活支援、住まい、それぞれの領域で調査研究、方策の構築、実施、評価を行いながら、よりよいものを作り上げていく不断の努力が必要である。本調査研究は住まいの領域でその一端を試みるものであり、JKA 補助で整備されたグループリビングやそこから学んで開設したグループリビングを社会状況の変化に対応したものに進化させることに寄与するものである。また、小規模サ高住の発展可能性にも示唆を与えるものとなる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 報告書 <https://www.glnet-groupliving.org/news/archives/62>



目次	
I. 研究の背景・目的	3
II. 調査報告	
グループリビング A	5
グループリビング B	14
グループリビング C	22
グループリビング D	30
グループリビング E	37
グループリビング F	44
グループリビング G	52
グループリビング H	60
III. シンポジウム 感想・質問・回答	
新谷 益代 氏	68
高木 和子 氏	82
上野 勝代 氏	88
中川 恵子 氏	92

②会報



- NO. 22 17頁 [20191203_GLnet会報 NO. 22.pdf \(glnet-groupliving.org\)](https://www.glnet-groupliving.org/20191203_GLnet会報%20No.22.pdf)
- NO. 23 7頁 [GLnet会報 NO. 23.pdf \(glnet-groupliving.org\)](https://www.glnet-groupliving.org/20200103_GLnet会報%20No.23.pdf)
- NO. 24 5頁 [GLnet会報 NO. 24.pdf \(glnet-groupliving.org\)](https://www.glnet-groupliving.org/20200203_GLnet会報%20No.24.pdf)

(2) (1) 以外で当事業において作成したものなし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人てのひら

(トクテイヒエイリカツドウホウジン テノヒラ)

住所： 〒676-0011

兵庫県高砂市荒井町小松原1-7-13

代表者： 理事長 石原智秋 (イシハラ チアキ)

担当部署：

担当者名： 同上

電話番号： 079-442-2476

F A X：

E - m a i l : tenohira@khc.biglobe.ne.jp

U R L : https://www.glnet-groupliving.org/